

# 高田は168番目の空襲対象だった



7日は、午前小川末明文学館へ行き、上越市の平和展を見てきました。お昼休みの時間だったにもかかわらず、何人もの市民が訪れていました。

今回の平和展のテーマは空襲です。私も伯母を東京大空襲で亡くしていますが、第2次世界大戦末期に日本であった空襲の全体像を丁寧にたどることはありませんでした。市内では1945年5月5日の直江津空襲について聴く機会は何度かありまし

た。でも高田も空襲の対象として全国168番目にあげられていたことは今回初めて知りました。長岡空襲のひどさも何度か聞いていましたが、今回、よく学ぶことができました。

左のイラストは、平和展で板倉区の平田真義さんの説明を聴く人たちです。その下の写真は、空襲対象として挙げられた都市名一覧の一部です。163番目の敦賀市が空襲に遭っていることを考えると、ぞっとします。

6.	伊勢崎	146.	川内	167.	島原
7.	津山	147.	能代	168.	高田
28.	芦屋	148.	立川	169.	平
29.	三原	149.	西条	170.	七尾
30.	徳山	150.	八代	171.	舞鶴
31.	川越	151.	伊丹	172.	柏崎
32.	山口	152.	下松	173.	洲本
33.	藤沢	153.	三島	174.	中津
34.	帯広	154.	宮古	175.	海南
35.	三条	155.	佐伯	176.	館山
136.	石巻	156.	新宮	177.	飯田
137.	日田	157.	萩	178.	丸亀

## 市長をめぐる動き、急展開の可能性も

臨時市議会が19日開催されます。議案は市長自らの給料の全額をこの7月から11月までの5か月間、減額する条例と関連する補正予算です。

この議案2件は、6月議会において中川市長が、「研究開発をせっせとやる方々は270名程度と聞いている。それ以外は工場での勤務だ。基本的には高校を卒業したレベルの皆さんから働いていただくことになるので、頭のいい方だけが来るわけではない」と高卒者を差別する発言をしたこと責任をとるかたちで提案されるものです。市長は現在、82万3820円の給料ですので、5か月分の給料全額減額となると、総額は411万9100円となります。

これらの議案については、臨時議

会の総括質疑で7人の議員が登壇して、これまでの経過や提案理由などを質す予定となっています。7人も登壇するのは、市民の圧倒的世論が「市長は差別発言の責任を取って辞職すべきだ」となっていることが背景にあるからです。

報道によれば、市長は「もう一度チャンスを与えてほしい」と続投の意思を示しています。

しかし、議会の対応次第では急展開する可能性があります。ご注目ください。



## 牧区の「夢まつり」で



牧区の「夢まつり」作品展で出合った東松ノ木の渡辺靖子さんの「静子さんの思い」というタイトルの作品。この静子さん、どこかでお見かけしています。素敵な作品ですね。



今週のコウノトリ。いまだ巣立たず。9日の午後の撮影です。

【ニオイクロタネソウ】東ヨーロッパ、西アジア原産のキンポウゲ科の一年草。別名セイヨウクロタネソウ。料理のスパイスとして利用されています。花期は5月～6月。白または薄青色の花を咲かせます。花言葉は「霧の中の恋」「ひそやかな喜び」など。写真は7月6日、吉川区代石にて撮影しました。

# はしづめ法一の活動レポート

No.2163 2024.7.14

発行編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず

Tel 025-548-3628

通じないときは 090-5392-1961

E-mail hasiznyg\_0808@yahoo.co.jp

URL https://www.hose1.jp/



ブログ「ホーセの見である記」はこちら

橋爪法一

検索

# 春よ来い

## 第八一〇回

### 生きていた鯉

ずっと気になっていたんです。留守家になつてから、Hさん宅の脇の「たね」（小さな池）にいた鯉たちはどうしているかと……。

七月上旬のある日の午後、Hさん宅に着いた私は、玄関前に車を止めて、近くの「たね」に行きました。「たね」には四層ほどの高さから水が細く落ちていました。その中心部から波が広がっています。気になつていた鯉たちですが、何処かの陰にかくれていたのか見当たりませんでした。

そこで、久しぶりに帰省していたR子さんに声をかけると、「鯉はいますよ」と言われました。それならばと、一人で再び「たね」へ。いつの間に出てきたのでしょね、「たね」のそばまで行くと、体長が七〇センチほどの大きな鯉が二匹いて、そのうちの一匹がバシッと跳ねました。様子を見ていたR子さんは私に向かって、「喜んでるんですよ」と言いました。確かに、私も喜んでるように見えました。

この「たね」には一九九四年（平成六）から鯉がいたそうですから、もう三〇年になるんですね、鯉たちが棲（す）んでいるのは……。数年前まで、鯉は六匹いたそうですが、サギなどにやられてしまい、現在は二匹だけになったそうです。

日常的に「たね」の鯉の世話をする人は一年数か月前まではいました。でも、一人で暮らしていた人も亡くなり、現在はいません。ただ、時々、私と同年代の子どもさんたちがやってきて、家の管理をしています。そのときはエサを与えていることと思えます。でも冬から春にかけてはずっと留守でした。だから、鯉たちはどうなったか心配していたのです。

今回の訪問でR子さんから説明してもらい、納得しました。「たね」の山際には、奥が深い「むろ」のようなものがある、どうやら、鯉たちはそこで冬を過ごしてい

たようです。それにしてもよく冬を越し、これまで生きてきたと思います。R子さんによると、大きな鯉はネズミだつて食べてしまつとか。食べるものは何でも食べていたのかも知れません。

この日、「たね」の様子を見に行つたとき、紫色のクガイソウが五、六本、土手に咲いているのが見えました。私は浦川原区の有島や吉川区の石谷あたりでしか見たことがありませんので、数少ない珍しい野の花なのかも知れません。

私が「クガイソウだね」と言うと、R子さんは、「紫色だけでなく、白いものもありますよ」と言うので、案内してもらいました。ひよつとすれば、初めて見るクガイソウかもと心は踊りました。でも、「白いクガイソウかも」と言われた植物があつた杉林にはクガイソウはなく、オカトラノオがありました。R子さんが見たのはオカトラノオだったのです。昔はここでオカトラノオを見た記憶がありませんので、植物の生態も変わったんでしょね。

その後、Hさんの家の近くにある梅の木のところにも二人で一緒に行きました。R子さんが「花梅」と言っていたその木には一個だけ梅が生っていました。実は熟し、黄色くなつていました。「食べていいですよ」と言われたのでいただきましたが、味はけっこう美味しいものでした。木の幹の周りには梅の実が見当たりませんでしたから、今年はこの一個だけだったのかも……。貴重な一個をいただきました。

梅の実を食べてからもう一回、「たね」へ行きました。「たね」に落ちてくる水を運ぶ管を支えているのは二本の細い丸太です。そのうちの一本の丸太の頭には、十五年前に亡くなったH男さんがかぶせたというアルミ製のキャップがそのまま使われています。二匹の鯉が生きる「たね」にはいろいろな歴史が刻まれているんですね。

## 「マリキータとその仲間たち」、10回目のコンサート

先週の日曜日、高田の街角交流館で開催された「マリキータとその仲間たち」のコンサートに行ってきました。

ラテン系の音楽は明るくて、元気が出ますね。「コンドルは飛んで行く」「花祭り」、今回も最高の盛り上がりでした。

ゲスト出演のコスモフィッシュの歌を聴くのは2度目、こ



らも素敵なハーモニーで人気です。どんどん好きになりそう。

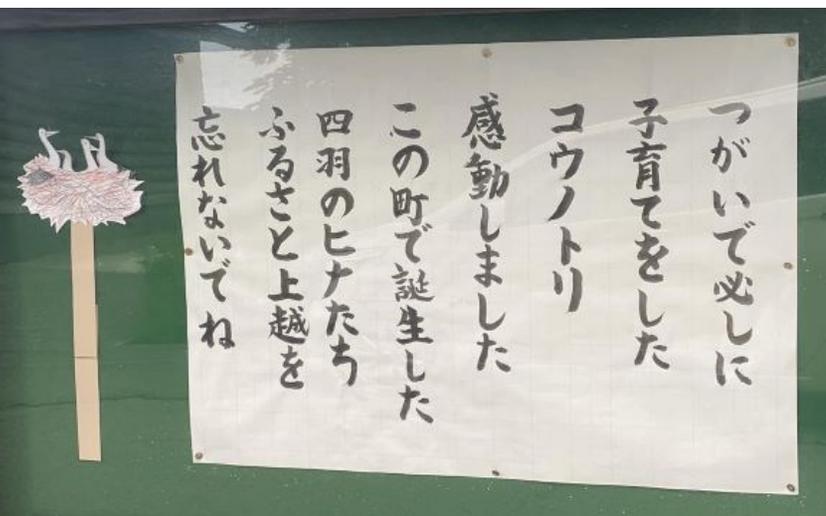


## 上越地域各消防署における空間放射線量率測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。

消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	7月3日(水)	7月10日(水)
上越南消防署	0.053	0.053
上越北消防署	0.053	0.043
新井消防署	0.047	0.050
頸北消防署	0.053	0.057
頸南消防署	0.067	0.063
東頸消防署	0.040	0.050
名立分遣所	0.053	0.060
高士分遣所	0.053	0.057



今回もコウノトリへの思いがそのまま書かれています。左の貼り絵も注目です。

## 善長寺の掲示板

つがいで必しに  
子育てをした  
コウノトリ  
感動しました  
この町で誕生した  
四羽のヒナたち  
ふるさと上越を  
忘れないでね